

教え方がうまい人は何をしているか？

「口頭で教える場合」編

©青田努,2015

<https://www.facebook.com/TsutomuAota>

	していること	うまい人は・・・	まだまだな人は・・・
①	前提の確認	相手の前提となる知識や経験を確認する、もしくは推し量る。	相手の理解度などを踏まえないまま、説明に突入してしまう。
②	範囲の提示	これから教えることは何のどこまでについてなのか、範囲を伝える。	これから伝えることのゴールが不明なまま、説明を続けてしまう。
③	構成の工夫	相手が分かりやすいように、伝える順番や展開を工夫する。	自分が伝えたい順、もしくは頭に浮かんだ順で話してしまう。
④	比喩の活用	相手が分かっているであろうものに置き換えて、概念や概要をイメージさせる。	他のものに置き換えた方が分かりやすいものも、そのまま伝えてしまう。
⑤	情報量の調整	相手が処理できるように、伝える情報量をコントロールする(絞る)。	相手の処理力を超える量の情報を伝えてしまう。
⑥	スピードの調整	相手の理解が追い付くスピードに調整して話す。	相手の理解が追い付かないスピードで話してしまう。
⑦	語彙の選択	相手にとって分かりやすい言葉を選んで使う。	自分は分かるけど相手には分からない言葉を使ってしまう。
⑧	相手のケア	相手がいま説明についてこれているか観察し、都度調整する。	相手の呑み込み状況を考えず、自分が吐き出すことに意識がいつてしまう。